

## 産科医療補償制度 第90回原因分析委員会 議事要旨

日時：2019年1月28日（月） 17時00分～19時40分

場所：公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者（委員）：石川浩史、茨聡、上塘正人、楠田聡、佐藤昌司、下屋浩一郎、鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、高田昌代、豊田郁子、前田津紀夫、馬目裕子、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋（敬称略）

### 議事概要：

- 1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について
  - 2018年12月末時点で、原因分析報告書の累計承認件数が2,204件となったこと等が報告された。
  - 「別紙（要望書）」対応<sup>(※1)</sup>について、2018年12月末までに82の分娩機関に対し実施したこと、改善要望を行った項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が一番多かったこと等が報告された。
- 2) 原因分析報告書全文版（マスキング版）の開示対応状況について
  - 2015年11月の開示方法の変更以降、2018年12月末までに、8件の原因分析報告書全文版（マスキング版）の利用申請があり、延べ888事例の報告書が開示されたことが報告された。
  - 学術研究に資するため、原因分析報告書全文版（マスキング版）の開示に加え、補償申請や原因分析のために提出された診療情報のうち妊娠・分娩経過、新生児経過等の情報をデータベース化した「産科制度データ」が新たに開示されることとなり、申請受付が開始されたことが報告された。
- 3) 原因分析報告書要約版の公表再開について
  - 原因分析報告書要約版については、2018年8月1日より公表が停止されていたが、2008年12月以降、保護者および分娩機関・関連機関から要約版公表についての同意・不同意の意思確認が行われており、同意しない旨の意思表示があった場合を除いて、順次、本制度のホームページに掲載され、公表が再開されることが報告された。
- 4) 部会審議における確認事項等
  - 原因分析報告書上の原因の記載や医学的評価のあり方等に関して、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての方針を整理した方がよいと提起された事項について考え方を整理した。
- 5) 原因分析報告書の見直し（案）について
  - 原因分析報告書作成のための審議等の効率化および読み手にとっての分かりやすさの向上の観点から、原因分析報告書の「臨床経過に関する医学的評価」の見直し案について審議を行った。（次回以降も継続審議）
  - また、原因分析報告書の「事例の概要」部分の記載方法の見直し案について審議を行い、見直しの大枠が了承された。

6) 「別紙(要望書)」対応<sup>(※1)</sup>を行う対象範囲について

- 「別紙(要望書)」対応の要否判断を行う際に、同一分娩機関での過去の事案について、どの時点まで遡り検証するかの考え方を整理した。
- また、同一分娩機関で2回目の「別紙(要望書)」対応が行われる場合を想定し、特段の改善対応が必要となる要件について、大枠の考え方を整理した。

7) 原因分析に関するアンケートの結果報告

- 2018年9月に実施された原因分析に関するアンケートについて、主な回答結果として、「原因分析が行われて良かったですか」という質問に対し、「とても良かった」「まあまあ良かった」を合わせた回答が保護者で71%、分娩機関で85%と共に高かったこと等が報告された。

(※1) 同一分娩機関において複数事案目の事例が発生し、原因分析でも、これまでと同様の指摘が行われ、改善がみられない、または、同じような事例の発生が繰り返されるおそれがあると原因分析委員会が判断した場合、該当の分娩機関に対し「別紙(要望書)」を送付し、改善取組みとその報告を求めている。

以上